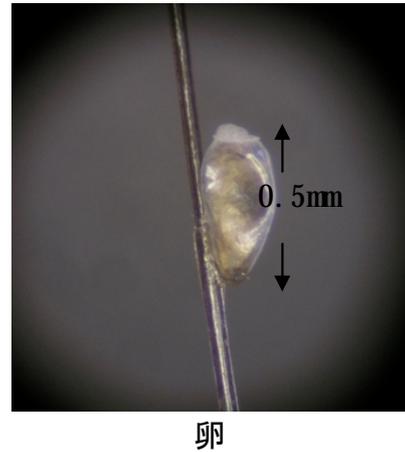


2. アタマジラミについて

<特徴>

アタマジラミは卵（約7日）→幼虫（約10日）→成虫（約1ヶ月）の順に成長します。卵は楕円形で上端にでこぼしたふたがあり、乳白色で光沢があります。成虫と幼虫は同じような形態をしており、成虫は褐色で、羽がないので、飛ぶことも跳ねることもありません。人の体から離れると、7～72時間程度しか生きられません。

卵は髪に固着しているのので、指でつまんで取り除こうとしても、簡単には取れません。



<症状>

人の頭部に寄生し、頭皮から一日に2～数回吸血し、吸血された箇所がかゆくなります。

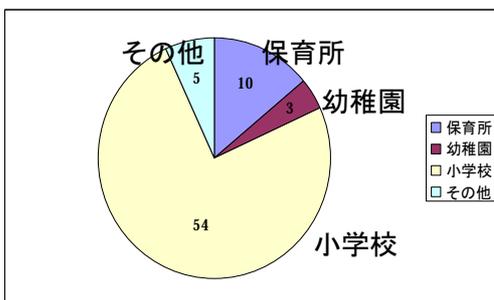
寄生初期には自覚症状のない子供も多いようですが、寄生する数が増えると、次第にかゆがるようになり、頭皮をかきすぎて炎症を起こす場合があります。

アタマジラミから病気がうつることはありません。

<寄生経路>

1. 頭と頭が接触すること
2. 身の回りの物（寝具・帽子・タオル・ブラシ等）を共用すること。
3. 衣類を他の人の物と重ねておくこと 等

以上のように接触により容易に頭髪から頭髪へと伝播します。子供は友達同士頭をくっつけて遊ぶことがあるので、保育所・幼稚園・小学校等での集団発生がみられることがあります。また、清潔にしているにもかかわらず、寄生されることがあります。



平成19年度

兵庫県におけるアタマジラミ被害発生状況
(健康福祉事務所に相談依頼があったもの)

相談件数合計 72件

<見つけ方>

成虫や幼虫は頭部を動き回り、寄生数が少ないと見つけにくいことがあるので、卵を見つけてみましょう。卵は毛髪の根元近く、特に耳の後ろやえりあし、後頭部に多く見られます。

そのとき、毛根部の皮膚がリング状に抜けたヘアーキャストのほか、皮脂や整髪料の固まりも付着していて、アタマジラミの卵と見間違えることがあります。これらは指でつまんで簡単に取り除けるのですが、卵はしっかりとくっついており、なかなか取れません。



<駆除方法>

・毎日洗髪する

成虫や幼虫はシャンプーで洗髪すれば、洗い流せます。子供自身の洗髪では洗い方が不十分になりやすいので、10日間ほどは大人が洗髪してあげることが必要です。

・髪を目の細かい櫛で髪をすく

卵・幼虫・成虫を取り除くため、スキグシを使用して髪をとかします。髪を小分けにし、水で濡らしたクシで根元から先端までとかす。とかす毎にクシを明かりに照らし、アタマジラミが付着していないことを確認し、付着している場合は水洗いする。同じ箇所を2～3回くらいとかす。これを10日間ほど実施します。

・駆除剤を使用する

フェントリンを主成分としたパウダー及びシャンプーが、薬局で販売されているので、説明書をよく読んで使用してください。ただし、薬剤は卵には効きませんので約3日おきに3～4回続けることが必要です。

・髪を短くする

髪を短くすると、アタマジラミを見つけやすいし、洗髪しやすく、髪をとかしやすい、生息場所を少なくする等の利点があります。しかし、無理に短くする必要はありません。

・枕カバー、シーツ、タオル等は毎日取り替え、洗濯前に熱湯処理をする

寝具についてアタマジラミや抜け毛についている卵を駆除するため、60度以上の湯で10分以上つけた後洗濯します。また、アイロンをかけたたりしても駆除できます。

・身の回りの物は共用を避ける

タオル、くし、帽子、衣類等は専用の物とし、共用は避けましょう。また、他の人の衣類などと重ねて置かないようにしましょう。

・施設内を清掃する

掃除機などをかければ取り除くことができますので、日頃から施設内をよく清掃しましょう。



<理容所での対応>

- ・使用する器具、布片の共用をしない

アタマジラミの方の髪の毛をカットした場合、使用した器具、タオル、クロス等は60度以上の熱湯で確実に処理して下さい。紫外線照射では短時間では死にません。

- ・作業着を交換する

作業着にアタマジラミや髪の毛についた卵が付着している可能性があるため、作業着を交換して下さい。脱いだ作業着は60度以上の熱湯で処理する等、適正に取り扱って下さい。

- ・施設内を清掃する

作業終了後速やかに、作業いすや床面を清掃して下さい。

- ・廃棄物を適正に処分する

アタマジラミが付着した髪の毛等は、ビニール袋に入れてから処分する等、完全に処理を行って下さい。

他のお客様にうつさないよう、十分に気をつけてください。

また、駆除は継続的に実施することが必要です。専門家として駆除方法等のアドバイスをしあげて下さい。